

第12回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校 教育研究会 プログラム

1. 日時 2007年11月17日(土)～18日(日)

2. 場所 名古屋国際中学校・高等学校 (本研究集会担当：片山教頭)

〒466-0841 愛知県名古屋市昭和区広路本町1-16 (TEL：052-858-2200 FAX：052-853-5155)

[URL <http://nihs.nucba.ac.jp/>]

3. 参加費・昼食費・懇親会費について

- ① 当研究集会実施連盟の加盟校については、参加費無料です。
- ② 加盟校以外からの参加の先生は、受付時に参加費として5000円をお願いします。
- ③ 昼食をお申込みされた方は受付時に昼食代1000円をお願いします。領収書が昼食引換券となりますので、お弁当受取時に必ずご提示ください。
なお、総会(校長・幹事会)に参加される方の昼食はこちらで準備いたします。
- ④ 懇親会費(4000円)については、懇親会会場受付にてお支払いください。

4. テーマ

「少子化・国際化・情報化の中で ～生徒の多様性はどう応えるか？応えるべきか？～」

『私学として、国際的に通用する人材を育成する』

少子化は私学教育に対して大きな変革を求めてきました。深刻な学力低下の一方で叫ばれるSSH(Super Science High School)やSELHi(Super English Language High School)に代表される先端的な教育の必要性、社会の国際化・情報化等複合的なうねりの中で、私学は、常に敏感な対応を社会から求められています。多様化する生徒達の素養と人格を高め個性・能力を伸ばす教育が必要とされているのです。

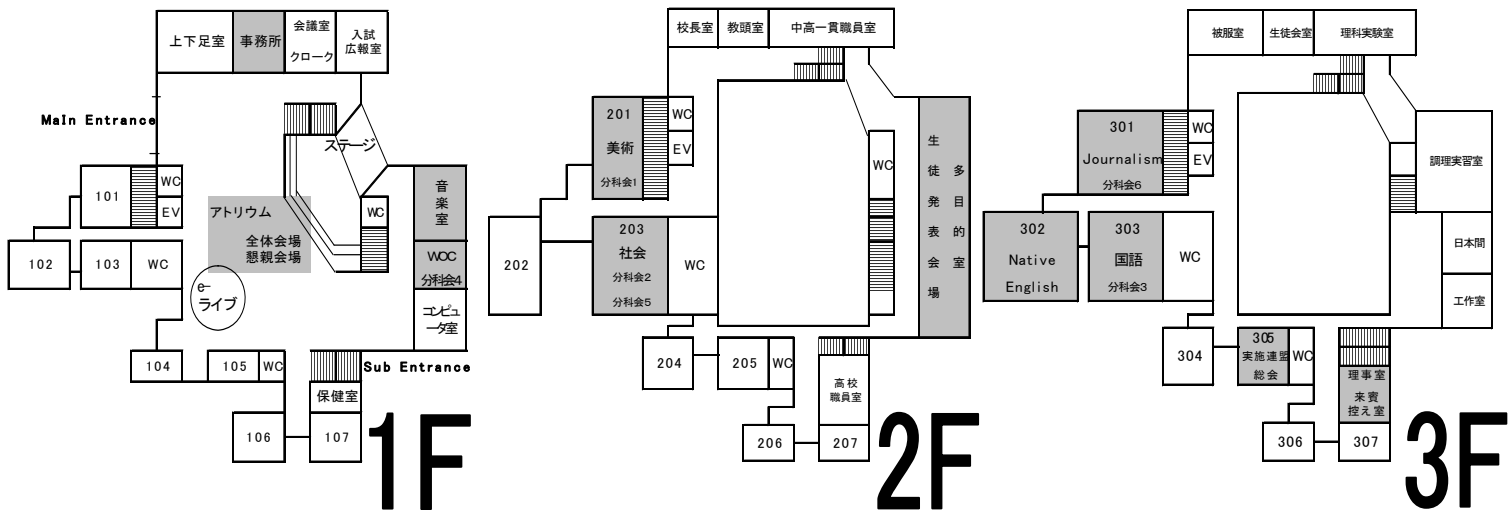
新たなスタートを迎えた昨年度、本研究集会では、現代における私学の社会的役割を考えるべく、このようなテーマを取り上げました。今年度もこのテーマを継続して取り上げ、その中でも特に国際化に焦点を絞って分科会の討議を計画しました。17日には、基調講演では愛知県の私学の状況についてお知らせをいただくとともに、「国際化の今」を、分科会を通して明らかにしていきたいと考えます。18日には、記念講演におきまして「教育のグローバル・スタンダード」について考えるとともに、「国際化のこれから」について、分科会で多様な示唆をいただき、さまざまな切り口で意見交換ができればと考えております。

1. プログラム

《恐れ入りますが、講師等の敬称は略させていただきます》

11月17日(土)		
9:30~	受付	玄関
10:00~10:50	授業公開【英語・国語・社会・音楽・美術】 英語科 3年1組「Native English」 Michael Clinton 302 英語科 4年1組「Journalism」 May Halvorsen 301 国語科 5年1組「ディベートを取り入れた授業」浅井 靖生 303 社会科 2年3組「プロジェクターを利用の授業」黒宮 祥男 203 音楽科 4年選択「音楽」武藤 浩司 音楽室 美術科 1年1組「似顔絵を取り入れた授業」鈴木 悟 201	教室
11:00~11:15	開会行事	アトリウム
11:15~12:00	基調講演：「愛知の私学」 名古屋経済大学市邨中学校・高等学校 校長 山田 和男	アトリウム
12:15~13:30	昼食 《同時に、本教育研究集会実施連盟総会（校長・幹事会）》	総会：305
13:30~14:30 休憩(15分間)	分科会（その1）：「国際化の今」 ① Native 教員から見た日本の国際理解教育（英語で） 名古屋国際中学校 教員 Richard Milnes 名古屋国際高等学校 教員 Liliana Cortez (元名古屋市立名東高等学校) 【助言：George Pruitt／司会：Erik Fritz／記録：Peyton Bowman】	教室 ① 201
14:45~15:30	② 国際化への道 企業からの提案 株式会社 ^ベ ネッセコーポレーション 高校・大学教育本部 学校教育調査課 特別顧問（旧教育総研所長）高田 正規 【司会：栗山 俊夫／記録：大西 直子】	② 203
	③ 模擬国連会議の指導 ベリングポイント株式会社 アナリスト 小田 良平 愛知県立千種高等学校 国際課主任 大宮 秀樹 【司会：黒宮 祥男／記録：北原 教史】	③ 301
15:45~16:15	生徒発表：名古屋国際中学校・高等学校の生徒による発表 「国際理解研修と私の進路」 5年1組 市野 貴大 「ロンドン語学研修報告」 2年生代表 「国際理解研修報告」 4年生代表	多目的室
16:15~16:30	諸連絡	
17:00~19:00	懇親会 （せっかくの機会ですので、是非ご参加ください）	アトリウム

11月18日(日)		
9:30~	受付	
10:00~10:10	開会行事	アトリウム
10:10~11:50	記念講演：「教育におけるグローバルスタンダード」 名古屋国際中学校・高等学校 校長 George Pruitt [変更]	アトリウム
12:00~13:00	昼食	
13:00~14:00 休憩(15分間)	分科会(その2)：「国際化のこれから」	教室
14:15~15:00	④ 高大連携教育の実態 - 進学制度、接続教育の実際 名古屋商科大学 外国語学部 教授 植村 猛 早稲田大学本庄高等学院 教諭 望月 真帆 【助言：学校法人栗本学園 監事 鶏徳 尚雄】 【司会：浅井 靖生／記録：武藤 浩司】	④ WOC
	⑤ 英語の話せる日本人の育成 - SELHi の取組みから TOEIC 運営委員会 名古屋業務センター所長 城田 賢吾 立命館宇治中学校・高等学校 SEL コース主任 岡本 邦秀 【司会：林 正樹／記録：小島 潤一郎】	⑤ 203
	⑥ サイエンスにおける国際化 - SSH の取組みの今 立命館中学校・高等学校教頭(SS担当) 田中 博 株式会社アイエスイ 国際教育研究所 国内教育開発部 篠原 誠史 【司会：沢登 洋／記録：平岩 英恵】	⑥ 301
15:00~16:00	全体会：各分科会の報告とまとめ 閉会行事	アトリウム
16:00	解散	



分科会について《各分科会の概要》

分科会（その１） 「国際化の今」 11月17日(土)

① Native 教員から見た日本の国際理解教育（英語で）

この分科会では、native の教員から見た日本の国際化の現状について、率直な意見交換ができればと考えています。日本での教育経験のある native 教員から見れば、日本の現状は国際理解にまだまだ課題があるかもしれません。ただ、この分科会では、単に苦言や要望を出すだけでなく、今後、日本の私学として国際的に通用する人材育成のための課題提起を目指します。

② 国際化への道 企業からの提案

この分科会では、国際化に向かう社会のなかで育成すべき人材像を明らかにし、単に偏差値を追い求める受験教育では成し遂げ得ない、私立大学附属校ならではの教育活動のあり方を具現化することを目指します。日本の企業トップの人材育成課題意識に触れながら、教育研究機関の視点から、私学教育の現状と解決課題を明らかにできればと考えています。

③ 模擬国連会議の指導

この分科会では、「模擬国連」に焦点をあて、日本の国際理解教育の現状と今後の展望を共有することを目指します。講師のおひとりからは大学時代(立命館アジア太平洋大学：APU 在学時)に模擬国連を体験した経験談を語っていただき、模擬国連の概要をお伝えいただくとともに、講師のもうおひとりからは高校生模擬国連会議に公立学校として取り組まれた経験から、指導の実際をお伝えいただき、ともにその経験から、生徒の成長や教育の可能性を探ることができればと考えています。

分科会（その２） 「国際化のこれから」 11月18日(日)

④ 高大連携教育の実態 - 進学制度、接続教育の実際

この分科会では、私立大学の附属校・併設校ならではの教育展開の可能性を探りたいと考えます。現在、大学と高校の関係は、一般校も含めてさまざまな高大連携・接続教育の展開が進められようとしていますが、その多様な現状を共有するとともに、私学としての建学の精神や社会的使命感に基づく人材育成の観点から、今後の課題を明らかにすることを目指します。

⑤ 英語の話せる日本人の育成 - SELHi の取り組みから

この分科会では、日本の英語教育の現状について国際的視野からの分析を知るとともに、今後の展開の可能性について探ることを目指します。特に、目指すべき「英語を使える人材」育成像やその育成のための方法論について、教科の枠を超えて語り合い、課題を明らかにできればと考えます。

⑥ サイエンスにおける国際化 - SSH の取り組みの今

この分科会では、意外に見落とされがちな理系分野における国際化の重要性について課題意識を共有できればと考えています。SSH における Super Science Fair の取り組みと次年度予定されている International Super Science Fair の展望について共有するとともに、公立学校 SSH における国際化の取り組みについてもご紹介いただき、国際社会に通用する人材育成を、国際競争力という視点も踏まえた立場から、展望することを目指します。